

## 2012 学びいな夏祭り開催

恒例となりました学びいな夏祭りを開催します。

今回は、学びいんで活動する皆さんの作品展示に加え、紙バンド小物作り・エコたわし作り・デッサン体験・こま作り・リース作りなどの体験メニューも盛りだくさん。身近だけど意外と知らないお城山でのもりもり探検、ホテルが住んでいる川へのカワニナの移植など、亀ヶ城公園の自然環境を利用した野外体験もあります。

また、日本を代表するギター奏者とオカリナ奏者によるミニコンサート(22日のみ)が開催され、駐車場ではミニS Lを運行します。見て、触れて、聞いて楽しい学びいな夏祭りにぜひお越しください。

●日時：7月22日(日)・23日(月)

両日とも午前10時から午後3時まで

※詳しくは7月中旬の折り込みチラシをご覧ください。

## 第18回町民登山教室 参加者募集

今年で18回目を迎えた町民登山教室は、喜多方市にある大仏山(708.2m)を目指します。大仏山は「うつくしま百名山」に選ばれ、展望が良い山として知られています。猪苗代山岳会員と一緒に楽しく登ってみませんか。

●日時：8月4日(土) 午前8時30分 学びいな集合

●行程：学びいな(8:45)⇒登山口(9:30)⇒大仏山(11:30～12:00)⇒登山口(13:30)⇒道の駅「喜多の郷」(14:00～14:30)⇒学びいな(15:30)・解散

●参加料：500円(保険料、交通費他)

●参加資格：3時間程度の山道を歩ける健康な人

●装備：登山に適した靴と服装、帽子、手袋等を着用

●持ち物：昼食、飲料水、雨具、常用している薬、ゴミ袋、健康保険証のコピー

●定員：15人(先着順となります)

●申し込み：7月25日までに①氏名②性別③生年月日④住所⑤電話番号を明記の上、猪苗代山岳会・江花俊和さん宛てにファクスかメールで申し込んでください。

FAX (62) 4457 E-Mail ebanasou-toshi@nifty.com

●問い合わせ：☎(62) 4457 (江花)

## いなわしろ歌謡ステージ開催

猪苗代歌謡教室が主催するいなわしろ歌謡ステージが開催されます。10周年という記念の発表会となる今回は、歌・踊・太鼓の競演と題し、カラオケをはじめ舞踊、太鼓、フラダンスと盛りだくさんの内容で開催されます。

●日時：7月16日(月・祝) 午前9時開場

●場所：町体験交流館 学びいなホール

●入場料：無料ですが整理券が必要になります

●整理券取り扱い：町体験交流館 ☎(72) 0180 または猪苗代歌謡教室会長 渡部 ☎090(4550) 2648

## 青少年メッセージ 2012 開催

郷土を担う青少年が家庭や学校などで考えたり実行している内容を発表する、第25回青少年の主張猪苗代町大会が開催されます。入場無料、どなた様もお気軽にお越しください。

●主催：猪苗代町青少年健全育成町民会議

●日時：7月21日(土)

開会式：午前9時、発表：午前9時20分、審査：午前10時40分、表彰式：午前11時30分

※審査の時間には、元NHKチーフアナウンサーで、現在、春日井郷土館・小川正子記念館名誉館長であり、真打ち講師の神田甲陽(本名：末利光)さんによる記念講演があります。

●場所：町体験交流館 学びいなホール

●入場料：無料(どなたでもご来場できます)

●テーマ：A「自然環境やエネルギーに関すること」  
B「夢や希望、まちづくりに関すること」  
C「友達や家族などとの絆に関すること」

●問い合わせ：町体験交流館 ☎(72) 0180

## 猪苗代町舞踊協会発表会開催

体験交流協会に加盟する舞踊4団体(若柳流静舞会・花柳流みほ乃会・内海流道京会・紫派藤間流紫真藤会)で組織された猪苗代町舞踊協会の発表会が開催されます。洗練された和の競演をぜひご覧ください。

●日時：8月19日(日) 9:30開場、10:00開演

●場所：町体験交流館 学びいなホール

●入場料：2,000円

●問い合わせ：町舞踊協会長 若柳和香 ☎(62) 3204

●チケット取り扱い：藤間紫真藤 ☎(62) 2625  
町体験交流館 ☎(72) 0180



写真左から若柳和香さん、内海道京さん、花柳寿美衛さん、藤間紫真藤さん

## いなわしろ民話祭り開催

楽しい話、猪苗代に伝わる話、妖怪の話などを面白おかしく語ります。今回は「はやくきてくたされ」と、ひと目会いたい気持ちを綴った手紙を野口英世博士宛てに母・シカが送ってから100年目の年にあたることから、「手紙の朗読とシカさんの語り」と題した特別コーナーもあり、聴きどころ満載です。みんな来てくなんしょ。

●日時：7月16日(月・祝)

午後1時30分～午後4時(開場午後1時)

●場所：町むかし体験館(旧山内家住宅)

●入場料：無料

●主催：猪苗代民話の会

●問い合わせ先：☎080(3146) 7130(鈴木)

## 東日本大震災の体験、記録、記憶、教訓等を募集します

福島県では、次の世代に継承していく事を目的として、東日本大震災や原子力災害などの体験、記憶、教訓を募集しています。

●募集の対象

(1)地震、津波、原子力災害等から避難するに当たっての体験、記憶、教訓等

(2)地震、津波、原子力災害などから避難する人を指示、誘導するに当たっての体験、記憶、教訓など

(3)風評被害の体験、記憶など

(4)避難生活を余儀なくされた人や避難した人の支援などにおける体験、記憶など

(5)携帯電話、ホームビデオ等に記録された津波などの映像資料

(6)被災前の町の様子等を記録した写真、映像資料等

(7)東日本大震災、原子力災害などの状況を伝える資料など

※(1)から(4)までの体験などについては、話している状況を映像として収録し、収集します。

震災後の大混乱で、昨年度は教職員人事が8月に行われるなど前代未聞の事態となったが、今年は幸い通常の4月人事だった。人事は、組織の活性化や人材の登用などを目的として行われる。教員に限らず勤め人にとつては宿命的なものだが、慣れた場所を離れ異動することは、相当のエネルギーを要するものである。

これを「植物」的な観点から見ると、盆栽や庭木など全ての種類ではないが、ある期間ごとに「移植」を行う場合がある。根腐れなどを防いで成長を促し、また見栄えをよくしたりするためである。人事異動もこれとよく似ている。つまり、その土地の水や空気に慣れ、その土壌に根付いていたのが、ある日すっぽりと引き抜かれ別の土地に植え替えられたようなものだ。

まして人間であれば、水や空気以外にも、同僚や上司など複雑な人間関係、その他の環境にも慣れ親しみ、しっかりと根を下ろすすまでは相当の努力や苦勞が伴う場合も少なくない。

今年も町内からよそへ、会津若松市や喜多方市、郡山市などから町内へ、町内幼稚園やこども園などでも異動があった。いつの間にか夏休みも間近だ。異動先の土壌に早くなじみ根を下ろし、それぞれの学校や園の子ども達のためお力を発揮して欲しいものと思う。

(土屋)

## 教育委員会コラム

### 第二十六回